夕刊
臺灣日日新報
六月十日

防衛總參謀長佐野中將
三中將、七少將の異動
陸軍省發表

【東京發】大東亞戰爭の劈頭香港攻略戰に武勲を樹てその後引續き南方戰線において赫々たる偉功を建てた佐野忠義中將は今回小林淺三郎中將の後を受けて國土防衛の重任を擔ふ防衛總參謀長に就任、栗林忠道中將は東京師團長に、又大阪號坂口兵團の名によつて比島ボルネオからジャワ攻略戰に武名を轟かした坂口靜夫中將は宇都宮師團長に就任、以上三中將の異動と共に松岡勝藏少將の陸軍飛行學校長、近藤兼利少將の太刀洗陸軍飛行學校長、安部孝一少將の前橋陸軍豫備士官學校長、當山弘道少將の千葉陸軍高射學校長の補職等少將七名の異動が十日陸軍省から發表された

陸軍省發表（六月十日）

今般左の通り發令せられたり

陸軍中將 佐野忠義
補防衛總參謀長
陸軍中將 栗林忠道
補東京師團長
陸軍中將 坂口靜夫
補宇都宮師團長
陸軍少將 松岡勝藏
補陸軍飛行學校長
陸軍少將 近藤兼利
補太刀洗陸軍飛行學校長
陸軍少將 安部孝一
補前橋陸軍豫備士官學校長
陸軍少將 當山弘道
補千葉陸軍高射學校長
陸軍少將 武田信男
補名古屋陸軍造兵廠長
陸軍少將 河田槌太郎
補東京師團兵務部長
陸軍少將 倉林公任
補[illegible]師團兵務部長

來年九月一日に施行
市街庄協議會員選擧

……熱なる決議機關の設置に伴ひ……では十一月二十一日任期滿了を見る市會議員、街庄協議會員の任期は來年八月三十一日まで延期するに內定、近く發行律令で公布されるが、十一月二十一日の第三回地方選擧は取止めとなり、來年九月一日に施行されることとなつたが一方本年十月一日行はれる花蓮港廳、澎湖の三廳協議會員の改選については既報の通り……中のところ協議會員は全部任命となつてをり選擧は行はぬので協議會員のみは任期を延長せず、十月一日附をもつて新協議會員を任命する事に決定した

官公私立大學長會議

【東京發】全國官公私立大學長會議は十日午後一時半より文相官邸に開催され全國官公私立大學長及び文部省關係官、文相以下各官出席、岡部文相より訓示の後

一、學生、生徒の風紀刷新に關する件
一、思想問題に關する件
一、體育訓練に關する件
一、留學生に關する件
一、科學研究振興に關する件

等につき種々協議を行つた、同十一日は官公立大學長十六名出席して

一、大學制度改革に關する件
一、高校と大學の連絡に關する件

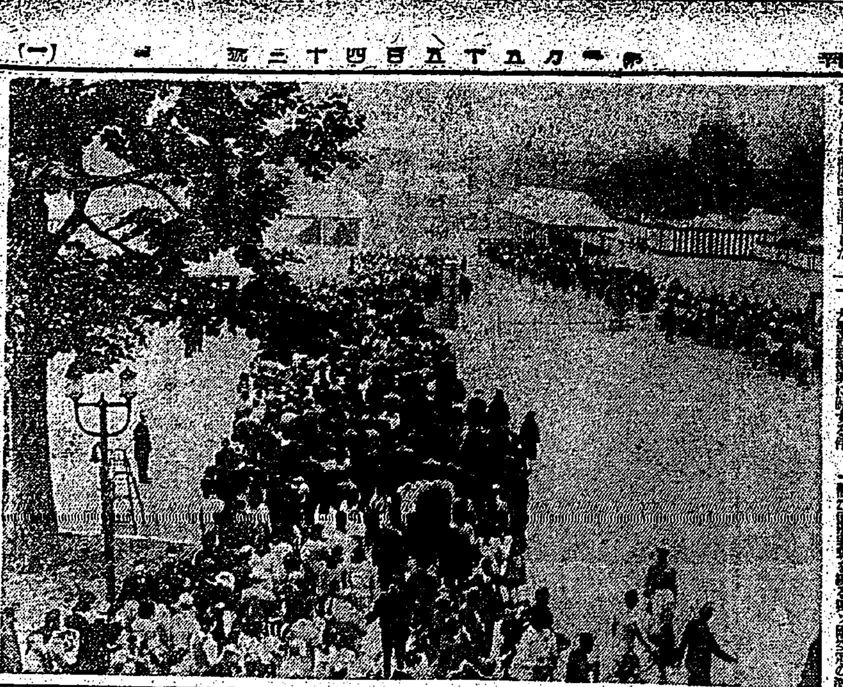
を又十二日は私立大學長二十九名出席

一、大學制度改革に關する件
一、高校大學連絡に關する件
一、私立大學制度改善に關する件

につき夫々協議懇談をなす

文相外大學長參內

【東京發】今般文部省において開催の官公私立大學長會議に出席の岡部文相、両院文理大學長始め四十三名は十日午前宮中に參內、天皇陛下には午前十時西溜ノ間に出御、畏くも一同に拜謁仰せつけられ一同は感激……


山本元帥の靈前に拜禮する一般市民

英水雷艇擊退
獨の護送船團

【ベルリン九日發同盟】ドイツ軍部の言明に依れば、去る八日夜ド……

敵擊滅の大獅子吼
けふ大阪で國民大會

【大阪發】翼賛會、翼壯、大阪市共催の「米英擊滅決戰國民大會」は九日の東京大會に引續き十日午後一時から大阪市中央公會堂に開會、嚴肅な國民儀禮の後……一同「海行かば」を奉唱……

太平洋艦隊を增強
ノックス長官言明

【ブエノスアイレス八日發同盟】……

佛智通商斷絶

【リスボン九日發同盟】……によればフランス政府は今回チリーとの通商關係を斷絶したと言はれる

情報局審議室諮議
民間各界から簡拔依囑

【東京發】……

制空權の爭霸戰熾烈
東部戰線獨空軍各地に猛威

【ベルリン特電】東部戰線における地上戰鬪の一時的靜穩と共に制空權爭奪を繞る獨ソ兩空軍の戰鬪はいよいよ激化してゐるが、獨統帥部が九日の公報で國空軍は八日中にソ聯機百四十一機を擊墜したと發表した如く……

上陸作戰宣傳に躍起
反樞軸軍神經戰術狙ふ

【ストックホルム八日發同盟】……

“海志”に完璧の備へ
けふ兵事防空課長會議開く

近く勅令公布を俟つて第一回志願……

山內局長訓示要旨

湖北戰線　豪雨に增水せる漁洋河の急流を突破、漁洋關に迫る我が精銳

賃銀交涉で又暗礁
米國の炭礦罷業續く

【ブエノスアイレス九日發同盟】……ルイスに對し罷業解決を一任する……傳へられる

擊沈破艦船四三三隻
伊海軍綜合戰果

【ローマ九日發同盟】イタリア海軍は參戰三周年を迎へ一九四〇年六月十日より一九四三年五月三十一日の戰果を九日次のやうに發表した

艦種	擊沈 隻數	擊沈 噸數	擊破 隻數	擊破 噸數
戰艦	二	六五、四〇〇噸	三	九〇、七五〇噸
空母	なし	なし	二	三七、四五〇噸
巡洋艦	一七	一二〇、八五〇噸	一四	一八八、〇〇〇噸
驅逐艦	三五	五三、八五〇噸	一五	三三、五〇〇噸
潛水艦	八九	九一、九〇九噸	三	三、〇〇〇噸
補助艦	二一	三四、一〇四同	六	八七〇〇同
商船	一五九	一、一一〇、六〇三同	一八	八八、六六〇同
油槽船	三一	二七六、四一五同	一	一〇、〇〇〇同
艦種不詳	ナシ	ナシ	七	一六、〇〇〇同
合計	三五四	[illegible]	七九	[illegible]

伊軍戰況公報

【ローマ九日發同盟】伊軍司令部は九日正午次の戰況公報を發表した

ヤマトタイムレコーダー・ヤマトタイムスタンプ
驚異的性能!!　無比の正確!!
出退時間記錄ニ　正確ナル『タイム』ヲ定評アル本機デ
價格低廉　小型堅牢　取扱至便
（新案特許品）
遞信省御指定品
株式會社　原口電機製作所大阪營業所
大阪市北區堂島濱通一堂ビル　電話北(36) 5890(10)・6330(6) 5755(5)
台北市太平町六ノ二〇　株式會社　臺中公司

米國政府失望す
亞國の中立堅持に

【ブエノスアイレス九日發同盟】……

盲爆の敵機墜落
遁走中秦自附近で燒失

【ハノイ九日發同盟】昨日佛印北部に來襲しハノイ地區を盲爆せる際わが熾烈なる地上砲火のためコンソリデーテッドＢ二四型一機が擊墜されたことが確認された、卽ち八日の敵は……コンソリデーテッドＢ二四型十二……

獨軍大部隊集結か
東部戰線に戰機熟す

【イスタンブール九日發同盟】アンカラ來電＝アンカラに到達した情報によれば獨軍は目下東部戰線中部地區に大軍を集結……

船舶四十七隻擊沈

【ベルリン九日發同盟】獨統帥部の言明によれば獨空軍は九日アゾフ海の東岸水域において赤軍の上陸用舟艇及び輸送船四十七隻を擊沈……

ソ聯機百四十一擊墜
獨空軍東部戰線に戰果

【ベルリン九日發同盟】獨統帥部の……

クバンの反擊獨擊退
戰車百、三百五十機屠る

【ベルリン九日發同盟】……

政界各層全面的協力
臨時議會議事順調に進まん

【東京發】來る十五日召集三日間を以て召集される第八十二臨時議會は……

臨時議會召集日に貴族院各派交涉會

【東京發】貴族院では第八十二……

チャーチルの報告演說

【ストックホルム八日發同盟】ロンドン來電＝チャーチル首相が八日下院で行つた報告演說の要旨次の通り

二十年前來の知友
天羽總裁、ラウレル氏を語る

【東京發】……

施政一周年近づくバリ島
更生の息吹き脈搏つ
卅年の桎梏から全く解放さる

【シンガラジャ九日發同盟】過去三十年の永きに亙つてオランダ政府の……

治安　……
衞生　……
文教　……
交通通信　……
農業、水產　……

日婦の記念式典

寫眞＝上 藤岡軍兵務部長時局を談ず（向つて右） 齋藤皇奉本部長の祝辭を代讀する森部總務部長（向つて左）下 式典會場

嚴か、日婦の記念式典

忠魂につゞかん…

堂に溢る凛烈の氣魄

本島日婦五十餘萬の婦人の總力を結集し皇民奉公會の傘下に決戰下銃後婦人の使命達成をめざして逞しく發足した大日本婦人會臺灣本部では十日めでたく結成一周年の記念日を迎へた、この日午前九時から臺北市公會堂で本部・州支部・市支會など關係の役員および主なる會員三千餘名が參集して嚴かな記念式典が舉行された

[illegible]司令官夫人、藤岡軍務部長…[illegible]…宮城に對し奉り恭しく遙拜、國歌奉唱ののち藤岡理事長の訓辭を奉讀、次で[illegible]…

齋藤皇奉本部長祝辭要旨

大日本婦人會臺灣本部は昨年の本月本日結成され、爾來一年、大東亞戰下、婦人の最も活躍を要する時期において百餘萬會員が活發なる運動を展開され、夫々御奉公の誠を捧げられたこと洵に欣びに堪へず、本日の記念日に當り謹んで滿腔の敬意を表するものである、即ち家庭に[illegible]…おける婦人の本務の外に[illegible]…戰力增强のために數々の手柄を立てられたものである…[illegible]…

長谷川日婦本部長式辭要旨

過ぐる昭和十七年の今月今日、この寳島に[illegible]…

敵の婦人に勝て

藤岡少將〝心構へ〟を說く

日婦臺灣本部結成一周年記念講演會は記念式典につゞき午前九時四十五分から臺北市公會堂で開催され、藤岡兵務部長陸軍少將は[illegible]…

ならない、平時の考へをもつてをるから不平不滿が出るのであり、我々は前線が我々より以上に困つてゐることを念頭におくべきである、平時の頭から戰時の頭に切りかへる、平時の尺度をすてて戰時の物指ではかるといふ心構へが絕對に必要である、最後の五分間といふが今では最後の一分一秒までも頑張ることが必要である。決戰段階に入つた今日我々の生活は今後ますます苦しくなることを覺悟すべきである。自分の生活は苦しいが前線は我々よりも苦しいのだと考へ[illegible]…

神前にちかふ婦人報國の誠

日婦臺灣本部結成一周年に當り午前十一時本部役員はそれぐ、臺灣神社、護國神社、建功神社に參拜して[illegible]…

勇士に慰安の映畫會

日婦臺灣本部結成一周年記念行事の一つとして十日午後零時半および五時の二回にわたり臺北陸軍病院で…[illegible]…

身の丈六尺の偉丈夫

賞詞に映ゆ寺島兵長

譽の家の子

【新竹電話】山岡部隊第一線において二十數回の共產軍を蹴ちらし皇兵よく民衆所を死守、武勳に[illegible]…部隊長より賞詞を受けた寺島三男兵長の實家（愛知縣愛知郡[illegible]）を訪れると[illegible]…

太郎氏（[illegible]）は「伜はよくやつてくれた」と語つたが、彼らの五男統光君は「兄さんは五尺九寸もあるんだからそれは强いよ」と感慨深げであつた…[illegible]…また姉きぬえさんの夫君の三田[illegible]さんも現在出征中といふ譽の家である

榮譽を胸に故郷へ

〝實を結んだ若櫻〟急ぐ

過去六箇月間を戰友等と辛苦を共にしひたすら皇國の兵へと心身鍛練に勵んだ志願兵訓練所の學舍――臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所にいよいよ別れを告げる日が來た、十日榮えある修了式を終へた第一回後期若櫻五百一名は…[illegible]…

…心身鍛錬を怠らず一旦命下つたときは大君のために死せ

…（[illegible]）

早速郷軍の手續き

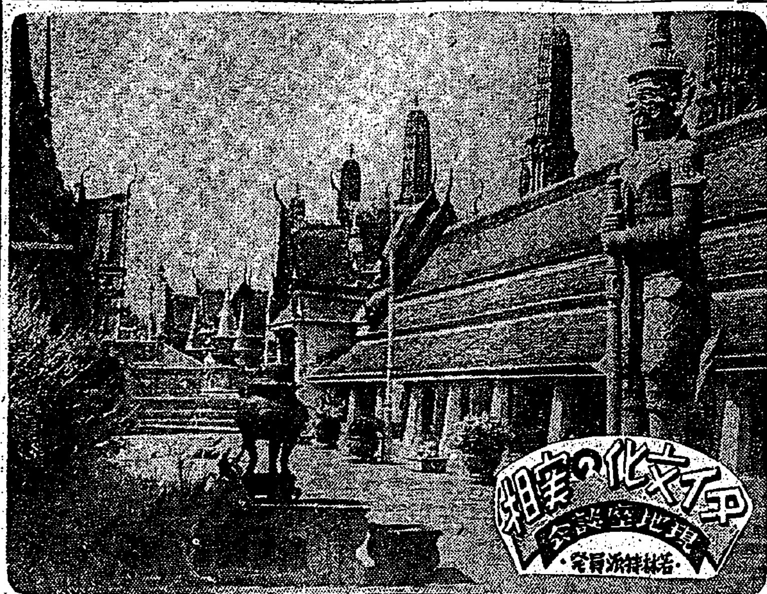
…[illegible]…

解散式 臺北州

…[illegible]…

陸軍志願兵に二名合格

【汕頭支局特電九日發】本年一月陸軍志願兵募集…[illegible]…



議案原案通り可決

けふ宜蘭市會開く

【宜蘭電話】第十一回宜蘭市會は十日午前九時から市公會堂で開催、市議二十一名（缺席一名）出席、宅野議長の挨拶があつて…[illegible]…

◇會議事項

一、昭和十八年度歲入歲出更正豫算

二、同追加豫算

三、昭和十八年度追加市稅の件

四、臨時災害者に對する戶稅の減免並に救恤援護に關する條例制定の件

五、宜蘭市市稅賦課徵收條例中改正の件

六、宜蘭市有給吏員及び常備消防手退職給與金積立規程中改正の件

殉職警官遺族救濟資金に寄金

…[illegible]…

答申熱烈

參與奉公委員會を開く

【基隆電話】基隆奉公會基隆市支會の參與委員會は十日午前九時半から市役所會議室で…[illegible]…

◇諮問事項 …[illegible]…

◇答申 …[illegible]…

〝子供さんは元氣か〟

田中警務局長代理 優しく遺族を慰問

【花蓮港電話】…[illegible]…

森田知事員林郡の遺族弔問

…[illegible]…

歸依丸で狂信的

具眼の士、大いに憂ふ

佛教の巻

タイは起立る、大東亞戰の新建設に向つて努力をつゞける友邦はどんな姿を[illegible]しつゝあるか、文化に、産業に、凡ゆる部門に[illegible]…

初等教育と寺院

…[illegible]…

托鉢の黃衣に埋る

…[illegible]…

佛教は幸か不幸か

…[illegible]…

快い合掌の挨拶

…[illegible]…

今夜の番組

…[illegible]…

明朝の番組

…[illegible]…

登山とハイク

十三日

◇觀音山行 …[illegible]…

◇トンロク山行 …[illegible]…

花卉、蔬菜苗を市民のお頒ちします

…[illegible]…

三國志

後（出師の巻）

吉川英治作

矢野橋村畫

中原を指して（八）(119)

「いざ奮迅あれ」

…[illegible]…

新發見！室内で日光の出來る

公定價一斤八十五圓の藥草

…[illegible]…

報國農事藥草園

クスリはホシ

胃腸虛弱の方
食慾不振の方
便秘で困る方
疲れやすい方
結核體質の方
產前產後の方

食慾と消化と便通と榮養を一手に引受ける…生きたビルツ（有効菌）とビタミンの複合劑

ホシ ミクローゼ

いんきん・たむし・水虫
ゼーキン
すり込んだ翌日から薄皮がとれ何とも言へぬ心地よさ
慰問袋必需品

病氣怖れず
良藥のんで
元氣で遊び
よくねむり
すくすく
丈夫に
伸びるのだ！

カンムシ夜啼きに
胃腸弱く肥らぬ兒
吐乳、青便下痢に
ヒキツケ氣絕時に
消化不良、食慾不進
虛弱の病弱な小兒

小兒良藥
樋屋奇應丸

大阪 樋屋合資會社

頭痛症狀
血行障碍に依る！

鎭痛・鎭靜
ハセロスール

頭痛、鎭痙的に作用すると共に腦血管の病的緊張と痙攣を解き腦血流を圓滑ならしめて頭痛症狀を綜合的に輕快せしめる

頭重
眩暈
逆上
嘔氣
顏面潮紅
焦慮感
等隨伴症にも有效

肺病ろくまく

全快者發表の專門藥

中風藥 十八円
胃腸劑 十八円
治淋劑 十五円・廿七円
驅毒劑 八円・十四円

臺灣

有田ドラッグへ

再確認された
カルシウム劑！

ビオカルク

コロイド性正燐酸カルシウム劑

コロイド製藥株式會社

臺灣日日新報

本日夕刊共六頁

皇軍技術陣の精粹

防空兵器を天覽

畏し　御感一入深く拜さる

天皇陛下

【東京電話】畏くも天皇陛下におかせられては大東亞戰爭下特に我が科學兵器、就中防空兵器の生産の上に厚き大御心を寄させ給ひ、さきに侍從武官を各國の軍作業所、工場に御差遣、具さにその實況を視察せしめられその復命を聞召され [illegible]

木村兵器行政本部長謹話

[illegible]

外立岩治中將陣歿

我が陸軍通信界の權威者

[illegible]

擊墜破二八一機

我陸海軍の輝く戰果

南太平洋三月以降五月まで

【東京發至急報】大本營發表（六月十日十五時）南太平洋方面帝國陸海軍部隊は地上火器に依り本年三月一日以降五月末日迄に敵飛行機に對し次の損害を與へたり

擊墜二百四十九機、擊破三十二機

一日に三機以上擊墜

[illegible]

月別	擊墜	擊破	計
三月	九四	一二	一〇六
四月	七六	五	八一
五月	七九	一五	九四
計	二四九	三二	二八一

擊墜擊破地點

[illegible]

地點別戰果

△ムンダ（ソロモン群島ニュージョージア島）

△ブイン（ソロモン群島ブーゲンビル島南端）

△レカタ岬（ソロモン群島イサベル島）

△コロンバンガラ島（ソロモン群島）

△ショートランド島（ソロモン群島）

△カビエン（ビスマルク群島ニューアイルランド島）

△スルミ（ビスマルク群島ニューブリテン島）

△ラエ（英領ニューギニヤ）

△サラモア（英領ニューギニヤ）

△ミナト（蘭領ニューギニヤ）

△バボ（蘭領ニューギニヤ）

△ドボ（アラフラカイ・アル諸島）

△トアル（アラフラカイ・ケイ諸島）

△サムラッキ（アラフラカイ・タニンバル諸島）

△アンボン（モルッカ諸島・アンボイナ島）

[illegible]

野戰軍の本領發揮

○○部隊剿共作戰戰果

[illegible]

純忠克く至誠盡し學徒の使命達せよ

全國大學學長會議開かる

文相訓辭

[illegible]

畏し　教學に大御心

拜謁の榮　岡部文相謹話

[illegible]

ビブン泰最高指揮官

軍政的地位强化さる

[illegible]

議會對策萬全期す

衆議院　短會期を效率的に活用

[illegible]

インフレ傾向顯著

[illegible]

インフレに惱む濠洲

國民生活は頓に變貌

國民生活の變貌

[illegible]

外交政策轉換强要か

米英　新政權承認を條件に

[illegible]

學習を閉鎖實習に

全學長烈々の意見吐露

大學

[illegible]

幹部

[illegible]

青年

[illegible]

パンテラリア守備隊

英の降服勸告を一蹴

[illegible]

緬甸の視察團來朝

あす晴れの入京

ビルマ訪日視察團○○着

[illegible]

訪日の第一夜

[illegible]

金丸氏の後任　田畑氏着任

[illegible]

陸軍異動略歷

佐野中將　[illegible]

栗林中將　[illegible]

坂口中將　[illegible]

松岡少將　[illegible]

近藤少將　[illegible]

安部少將　[illegible]

當山少將　[illegible]

武田少將　[illegible]

河田少將　[illegible]

倉林少將　[illegible]

内閣辭令

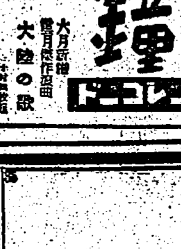
[illegible]

人事

[illegible]

けふの官報

[illegible]



天中軒雲月

サヨンの鐘

[illegible]

ビクターレコード

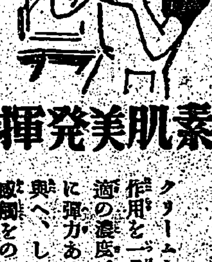
近頃、品物が充分ゆきわたらない事は申しわけありません。ごしんぼう下さる樣お願ひします。

パピリオ

臺灣總督府官報

月極購讀一ケ月四拾五錢
外ニ月別保存用官報綴一冊金九十錢

發賣所　臺灣日日新報社
島内各臺日取次店



一歩進んだ化粧料！

マスター乳液A

素肌美発揮に！

クリームと化粧水の作用を一品でかね最適の濃度ですから肌に弾力ある滑かさを與へ、しつとりしたチしたた素肌美を生かす化粧下に一等です

結膜炎・角膜炎
淚膜症・疲れ目
充血・トラホーム　等に

スマイルは正しい眼藥として信頼厚く殺菌・消炎・鎭痛・收斂の四作用秀れ一日數回の點眼で各種眼疾を輕快にします。

習慣性なき
純正眼藥
スマイル

二十五錢・四十五錢

發賣元　株式會社　玉置商店

社説

決戰下國債消化への方策

國民個々直接保有增を期待

一

"ことしこそは決戰の年なれ"の覺悟を年頭に於て以來早くも半歳を經過する。而して戰ひは正しく日に日に勝つか敗れるかの決戰段階で、吾ら國民の心身相熟も一段の緊張を加へて來てゐることも事實である。殊に山本元帥の戰死、アッツ島に皇軍をも失[illegible]しむ山崎部隊の壯烈玉碎の發表あつて以來一時國民は悲憤血涙にむせんだ。然し吾ら混亂はしない。否次の瞬間には山本元帥に、山崎部隊に續けの必勝の誓と一億の心底に誓つたのであつて、その志を志とし、その誓を承け繼いで必勝の誓ひを新たにしたのである。緒戰不敗の信念に徹する吾ら日本國民は今日如何なる困難不利に直面してもひるむものでなくそれを乘り越え打越え益々強くなりゆく者であることを明らかに悟り得たと思ふ。然し吾ら銃後國民として反省すべきことは、事に當つて戰意心新にと言つても、徒らにイキリ立つばかりでは能で無い、その激情を更らに戰力增强に移し、具體的な職域奉公で以て更に現せねばならないのである。

二

これに就て然らば直ちに敵に斬り込むことの出來ない吾ら銃後人は何によつて山本元帥を學し、山崎部隊の忠烈に報へるべきか、やはりその職域職場を通しての戰力增强であり、更に返して言はれる貯蓄增强に、國債消化に、全面協力が要望されねばならないのである。國債消化のことは直接戰力增强への兵器資材供給確保に當るもので、之が實踐には今や決戰下國民生活との關係を緊密ならしめる必要を生じて來てゐるのである。幸ひ、今日までに於ては順調なる消化が行はれ特に十七年度に於ては政府發表の豫定額百四十二億圓の發行に對し九割六分の消化が行はれ、前年の八割七分を遙かに上回る好成績を示してゐる。又同年の豫定發行額に對する未消化分の割合が十六年度より遙か少なかつたといふ事實は、一面莫大なる大東亞戰費の發行が頗る順調に進捗を見[illegible]從つて國債は計畫通り消化されてゐると考へ得られ、まことに心强きを失[illegible]と言はねばならない。

三

然し更に本年度國債發行額に見ると政府は二百十四億圓となし前年度發行豫定額より五十二億圓二千萬圓の增加である。五十二億圓の增加と言へば國民一人當り平均五十二圓の負擔增で、其消化には國民に一段と理解と協力が期待されねばならない。之に就て今日迄の國債消化は民間銀行、信託、保險會社、農組等の金融機關と郵便貯金簡易保險等官廳資金に引受けて消化を企圖し自發的な協力に俟つてゐる。その結果消化率は平均九割程度まで行つてきり良好を遂する消化としてはまづ順調であるが、殘額は日銀手持增となり通貨膨脹を來す結果となる。吾人はこの事實を見、更に大東亞戰爭と建設がお金を多々益々要する今後を思ふとき、從來の如く金融資金を以て之に充てる[illegible]を中心とする經濟主義的方策は既に限界に近いのではないかと思ふ。故に今後は直接國民個人に對する割當保有制を一層强化し更に吾人國民個々の國債保有を更に更に增大せしめる策を採るべきであると考へる。この國民個々の保有は今日迄にても貯蓄を通じ國債消化に協力してゐることに異りないが此際國民の總てが決戰國債の[illegible]に直接協力するといふ意味を込め、る意味からも手段且つ效果的な實際策たりと思ふ。從來個々への割當を避けたのは手當の傘をも考慮したものと思ふが、今やその限界と國民の愛情は官廳が國債保有に固執して居なさるやうな消極效果的な換れはあり得ないものと信ずる。又斯くてこそ銃後人は前線に命を出す戰友の忠誠と合致し、前略、銃後が最大の二とたつて何ものをも割きて戰力に寄與する結果となろう。

物資增産緊急措置

生産・消費の決戰態勢

【物價政策】【敵前價格】

政府は大東亞戰爭の決戰段階に對處して戰力の急速な增强をはかるため、さきに戰時行政職權特例の御制定を仰ぐとともに戰時行政特例法ならびに許可認可等臨時措置法を公布施行して戰時生産行政の簡易化一元化の途を開き、もつて五大重點産業に對する超重點主義を遂行することとなつたが、この生産面における戰時態勢に呼應して價格面においてもあらゆる增産上の障碍を排除、緊要物資ならびに戰時生活必需物資の計畫生産を所期の如く完遂せんとする見地から從來の戰時物價政策に十分再檢討を加へ、緊急「物價對策要綱」を決定した

緊急物價對策要項

要綱の内容は次に說明するごとくであるが、その趣旨を要約的にいへば、國民の物價安定感を維持するためあくまで低物價政策の原則を堅持しつつ特定緊急物資の增産を確保するに足る價格を與へるにある。從つて要綱の主眼とするところは、第一に、戰時緊要物資ならびに戰時生活必需物資の生産者に對して適正生産費と適正利潤とを含む適正價格、すなはち今年度において計畫生産額の生産を確保するに足る價格を保障すること、第二に需要者價格については、價格引上げが、いはゆる惡循環をもたらす恐れのない場合のほか原則として現行價格水準を維持し、もつてあくまで低物價の原則を堅持することにおかれてゐる。また要綱の眼目は、第一に價格調整補給金制度の確立、第二に價格報奬金制度の設定にあるといへよう

すなはち價格調整補給金制度は、從來の補助金政策を是正强化し、同時に二重價格制度を整備せんとするものであつて、特定物資の價格調整補給機關を設けてこの機關に一括して補給金を國庫から交付することとし、生産者からは適正價格をもつて買取らしめるとともに一方需要者に對しては二重價格により現行價格水準をもつて販賣せしめる制度であり、この結果生産者は後から補助金によつて補償されるのでなく最初から適正價格と適正利潤を保障されるのが狙ひである

第一、方針

要綱の方針は「第一、方針」「第二、要領」から成つてゐるが「方針」は「戰力の飛躍的增强の要請に即し大東亞自給自足體制を强化しつつ緊要物資の飛躍的增産に資するとともに國民戰時生活の安定確保を圖るため」「戰時の要請を確立せんとす」とある、すなはち、わが國今後の物價政策の目標は大東亞自給自足下の價格體系の確立、いひかへれば從來の國内物價水準主義の政策を清算して大東亞圏内における物資の計畫的生産、交易、消費の關係に立脚した新價格體系を確立するにあるが、しかし今直ちに大東亞物價水準に[illegible]行することとは、各種原料の不足、各種施設の未整備等の困難があり、わが國内においても今後さらに企業整備を進めねばならぬため、不斷に新たな急激な生産條件が變動しつつあり、適正な大東亞的價格水準の確定は困難であるばかりでなく新水準への急激な切替は却つて戰時經濟の安定を脅威することとなしとしないので、要綱は直ちに之を施へず、戰爭下物價水準に[illegible]の現段階に即應して[illegible]を許容することが「方針」の要旨である

第二、要領

「第二、要領」は「方針」にもとづいて次の七項目を決定してゐる

一、適正生産者價格の保障

國家の要請にもとづいて計畫生産を遂行すべき緊要物資並びに戰時生活必需物資については、[illegible]生産者に對して適正價格を保障する。[illegible]既に現行生産者價格が公定價格以上に上昇してゐる[illegible]も少くない、現實的に[illegible]の下で無理をして生産せよといふのは何としても無理であるから、是非增産を要すべき物資について適正原價と適正利潤（すなはち適正價格）を保障する原則を確立したのである。この原則により特定物資については生産者價格の引上げが實行される[illegible]、適正價格は[illegible]決定される

二、價格補給金制度の確立

特定物資の生産者價格はこれを適正化するが、需要者價格は原則として據置く方針である、すなはち二重價格制度が擴充强化されるわけで、生産者價格と消費者價格の差額は補給金制度によつて調整する。しかし從來の補助金政策には（1）消極的手續の繁雜、將來に對する不安乃至採算が惡化した場合の增額に對する不安、補助金の種類の複雜性（2）價格と補助金が別個に計算される結果、補助金が生産計畫に先行乃至併立せず、つねに生産の後を追ふ缺陷などがあり、增産に對する刺戟が有效となり得ない憾みがある。價格調整補給金制度はこの缺陷を是正するため物資別の價格調整補給機關すなはち一手買取機關を經由して交付、生産者からは適正價格で買取る制度であり、補助金はこの機關に國庫から一括交付される。從來の補助金政策を是正されて增産促進の積極的政策を發揮し得るものとなる、勿論、直接の價格引上げも補助金政策も、そのインフレ的效果に變りないが、しかし補給金制度によれば惡循環的影響は回避し得るのであつて、そのため公債消化貯蓄奬勵等の一般インフレ對策はさらに强化、徹底さるべきである

三、需要者價格の改訂

戰時緊要物資および戰時生活必需物資のうち、價格の引上げを明らかに容認し得るものについては需要者價格の改正も行はれる。しかしこれはいふまでもなく例外的な場合であつて、惡循環の生ずる虞れがない物資であること、惡循環の虞れのない程度の價格改訂たること、惡循環の虞れのない範圍内たることが條件になる。從つて同一物資についても一部について價格[illegible]

四、價格報奬制度の設定

增産に對する報奬制度は、從來も[illegible]その他の[illegible]、各種の方法によつて行はれてゐるが、價格報奬制度は軍需工場以外には行はれてゐなかつた。適正價格によつて計畫生産量を確保するとともに、價格面からも適當な報奬を行つて生産者の增産意欲を昂揚せんとするのが今次の價格報奬制度である[illegible]「緊急物價對策要綱」と同時に[illegible]が[illegible]されてゐる、[illegible]

前者は基準生産量以上の增産分を特別價格を以て買上げ、後者は企業能率の向上に對して特別利潤を認めるもので、公定價格の改訂等によつて行はれてゐるが、價格報奬制度は[illegible]に[illegible]を是正し、增産促進策としての性格を最も强く現はした制度である

五、生鮮食料品價格對策

生鮮食料品についてはその特質に鑑み、圓滑な供給を確保するため概ね現在の價格水準を維持しつつ季節性、地域性等を考慮、價格の適正化を圖ることとなつた

六、現行價格水準の維持

右に述べた「要綱」の第一乃至第五項においては、生産者價格、需要者價格について特定の戰時緊要物資、戰時生活物資および生鮮食料品につき價格の引上げ、特別價格の設定、報力性ある公定價格を認めてゐる、しかしすでに說述した如くその趣旨は價格面の增産隘路を除去して增産を促進するにあるので[illegible]一般物價水準の昂騰を易々として容認せんとするものではない、否あくまで低物價の原則を維持する方針が不變であることは「方針」が「戰時國民生活の安定確保」を「緊要物資の緊急增産」と並列せしめてゐることによつて明白である

敵前價格對策

要綱全體を通じて最も强く感じられることは、第一に今次の緊急措置が生産增强を目差した臨急對策たることであり、第二には、低物價堅持の確乎たる方針と熱意とが强調されてゐることである

顧みればわが國の戰時物價政策は支那事變直後の國家總動員法[illegible]總て昭和十四年九月の「物價統制大綱」により、國際物價を基準とする適正價格を形成して輸出を增進し、以て重要物資の輸入增大に資せんとする[illegible]に進展し、次いで昭和十五年十月の九・一八價格停止令に基く公定價格の全面化[illegible]

資源回收本部

本部長以下諸員決定

總督府では曩に府内に資源回收本部を設置することを決定したが之が本部長以下の參與其他を九日附を以つて左の如く發令した

臺灣資源回收本部長を命ず　臺灣總督府總務長官　齋藤樹

臺灣資源回收本部員を命ず

臺灣總督府參事官　小野太郎

同　鈴木信太郎

同　鈴木一斗人

同　山口一夫

同　藤本一郎

同　高橋　[illegible]

同　山下　仁

臺灣資源回收本部參與を命ず（各通）

臺灣總督府殖産局長　須田一[illegible]

同　天岩[illegible]

同　石渡[illegible]

同　鈴木　利茂

臺灣總督府[illegible]　鶴見　[illegible]

同　松岡　茂

臺灣總督府[illegible]記官　[illegible]

臺灣總督府[illegible]　渠浦　[illegible]

臺灣資源回收本部參與を命ず（各通）

臺灣總督府事務官　山口　一夫

臺灣總督府事務官　加藤　季吉

臺灣總督府理事官　川角　[illegible]

同　大野　乾

臺灣總督府技師　片山　[illegible]

同　澤田　[illegible]

同　松野　[illegible]

同　津田　[illegible]

同　高橋　季吉

臺灣總督府國土局長　奧田　[illegible]

臺灣資源回收本部附を命ず（各通）

非常時局部工營班長を命ず

臺灣總督府[illegible]局長　中平　昌

非常時局部工營班長を命ず

臺灣總督府[illegible]官　齋藤　[illegible]

非常時局部工營班長事務取扱を命ず

東ボルネオの目覺しい復舊、

原住民が獻身努力の姿

【バリクパパン廿四日[illegible]】南ボルネオ民政部[illegible]一年有餘、バリクパパンを中心とする東部ボルネオ各地民政官民の獻身的な努力と原住民の[illegible]協力とによりその復舊、開發は着々と進捗してゐるが、特にバリクパパンは[illegible]を見事に克服し、凡ゆる方面に力强い發展を見せてゐる

治安　[illegible]治安は全く安定し、ながらく[illegible]政府の[illegible]下に呻吟してゐた原住民は今や大東亞民族たるの自覺に目覺め[illegible]を信頼し凡ゆる[illegible]を[illegible]して南方建設に協力するの態度を示してゐる

都市計畫　バリクパパンの復興は實に目覺ましく、既住民の復歸者も既に[illegible]を越えるに至つた、民政當局ではこれに對し各般の適切な[illegible]を講ずるとともに遠大な都市計畫を樹ててゐるが、さしあたり前によつて[illegible]された[illegible]に官公衙[illegible]及び[illegible]を設けその跡寄りはこれを公園として整備、公園内には市民のための休憩所[illegible]を目論んでをり、さらに山の手には日本人[illegible]かな邦人[illegible]の[illegible]も豫定され、眼前に廣がる[illegible]な市民生活を營む日も遠くはない

交通通信　東部の[illegible]都市バリクパパンとサマリンダを結ぶ[illegible]道路は既にその大部を完成し、開通完成の日も近い、[illegible]間は勿論、遠く内地とも[illegible]はかでき、[illegible]、[illegible]、[illegible]の内地との交換も行はれてゐる

教育文化　[illegible]により原住民の小學校は殆ど復舊並に復活、大東亞民族としての[illegible]に力强い步みを續けてゐるが、さらに[illegible]ではボルネオ全島にわたり、この[illegible]から小學校の[illegible]の[illegible]をとつた、[illegible]時代にはこの[illegible]のため多數の原住民が[illegible]出來なかつたが、今回の[illegible]により今後はどんな貧しい原住民の子弟も就學し得ることになつた[illegible]、バリクパパンでは早くも就學者が續出、各校とも定員をはるかに突破する盛況である、またバリクパパン市内五ケ所にはラジオ[illegible]が設けられ原住民に對し演藝、ニュース、[illegible]等を放送してゐるが、この放送は[illegible]時代には全然行はれなかつたもので、原住民の[illegible]び方であり、[illegible]に官民、[illegible]も[illegible]する[illegible]された、この[illegible]の[illegible]して〇〇名を入所せしめ、[illegible]四月一日より「工夫養成所」を開所し第一期生として〇〇名を入所せしめ、邦人[illegible]官の下に[illegible]、[illegible]なる努力をつづけてをり、これら中堅技術者の[illegible]を[illegible]して[illegible]

産業　石油を始め[illegible]と言はれる[illegible]の石炭、さては[illegible]その他[illegible]に必要な地下資源はつぎつぎと發見され[illegible]に大森林には南ボルネオが[illegible]として[illegible]はもとより内地の[illegible]をも[illegible]ことが[illegible]出來ようつてゐる、[illegible]を始め木造船の[illegible]る「ベンキライ」[illegible]、[illegible]としてのラワン、カボール、メマルタンニン[illegible]のマングローブ等も文字通り木材の寶庫の名に恥ぬが、この[illegible]の[illegible]に必要な木材としての「リグナム・バイター」も[illegible]されてゐる、[illegible]これら[illegible]の木材を[illegible]する[illegible]もこの[illegible]に[illegible]、水産方面は淡水、海洋を[illegible]にずこれまた[illegible]を[illegible]しつつ[illegible]資源の[illegible]を行つてゐるが近く[illegible]の[illegible]に[illegible]されるであらう

邦人の活躍　バリクパパンの邦人は[illegible]のもとに木材に、造船に、[illegible]に[illegible]の[illegible]を續けてゐるが、このほど[illegible]を[illegible]めた[illegible]も[illegible]し[illegible]に[illegible]を[illegible]へた、[illegible]に[illegible]しい内地の香りが[illegible]の[illegible]に[illegible]ぬといふ[illegible]の[illegible]つた、[illegible]時代とかく不足[illegible]ちだつた野菜類も目下大[illegible]に[illegible]して居り[illegible]日本[illegible]の大根、山東菜、胡瓜、茄子、豆、トマト、西瓜が食卓に上る日も近く[illegible]の[illegible]の代表のやうに思はれてゐたボルネオは明るくと見ることは大[illegible]ひ[illegible]に[illegible]上の樂園である

石炭增産に敢闘

拔群者に輝く表彰

【東京電話】昨年十月から本年三月にかけ全國的に展開された第一回戰國石炭增産に[illegible]、[illegible]拔群の成績をあげた三井山野炭坑ほか三十一礦山を始め優良黑ダイヤ戰士北海道夕張[illegible]炭坑夫小野寺安治氏ほか三十二名、[illegible]職員住友[illegible]保安主任本間[illegible]氏ほか九名及び北海道天理教ヒノキシン隊、筑山[illegible]ほか〇[illegible]の中央表彰式は十日午前十時から永田町の首相官邸で盛大に擧行された、[illegible]首相、小磯[illegible]、[illegible]、鈴木企畫院總裁、[illegible]炭統制會長、平生大日本産業報國會會長以下[illegible]多數列席國民儀禮ののち首相から三十二礦山の代表者に、又小泉厚相から黑ダイヤ戰士、[illegible]及び[illegible]として初の表彰を受ける五[illegible]部隊に夫々輝く表彰狀が授與され、更に松本石炭統制會會長、平生大日本産業報國會會長から夫々記念品が授與された、ついで[illegible]首相の訓示、[illegible]の訓辭、[illegible]代の祝辭等があつて閉式、ついで大東亞會館に催された鈴木企畫院總裁の[illegible]午餐會並に茶會に臨み今後一層の敢鬪を誓つて散會した

原住民の協力で食料の自給自足

皇軍が〇〇に進駐して[illegible]の自給自足と現住民に勤勞指導を目標としてジャングルを拓き[illegible]其名も桃太郎農園と名付け食物を作る事を知らなかつた原住民に勇士が手をとつて指導、今では大根、小蕪等の收穫取り原住民に勤勞のありがたさを敎へて居る【寫眞は見事な收穫（上）と給付する原住民と兵隊さん（下）】

――陸軍省檢閲濟――

伊藤遞信部長巡視

伊藤遞信部長は十日新竹管下の郵便局巡視のため出發したが本十一日は竹東郵便局所屬の香杉山に向ひ遞信用木材の伐採狀況を視察し増産の督勵を行ふ筈である

九月中旬に創立總會

南日本漁業第一回設立委員會開催

南日本漁業統制會社の第一回設立委員會は十日午後二時より臺北鐵道ホテルに開催、有馬委員長以下委員十二名、並に總督府より[illegible]水産課長、金井技師、江口[illegible]等[illegible]官出席して、先づ委員長の挨拶あつて議案の審議に入り、委員會規程、設立趣旨書、設立事務日程等原案通り可決、[illegible]は前記委員長を舉げ、其代理として總督日本[illegible]社長[illegible]を[illegible]理に委任、又設立委員會を六月[illegible]に夫々決して午後二時半散會した、尙次の委員會は七月十五日開催する豫定であり創立總會は九月中旬となる模樣である

李厦門特別市長南京へ

【厦門支局十日發】在厦門[illegible]赤堀總領事は過日空路にて[illegible]の途に就いた、此の日厦門特別市長李思賢氏も同道南京へ向け出發した、李市長の南京行は同市政府が南京國民政府に[illegible]以來最初のもので用務の内容に就いては市政府の[illegible]等に[illegible]する市政令の[illegible]が、同市政府が中[illegible]

厦門に新生の表情

來臺した赤堀總領事　近況を語る

厦門總領事赤堀[illegible]氏は九日空路來北、新生厦門の現狀に就き左の如く語つた

厦門は[illegible]生産都市ではなく完全なる消費都市であり、從來の厦門經濟の根幹は海外と奧地との中繼に依つて居たが事變の際の奧地との聯絡は絶たれ、中繼地的性格は消滅、又華僑の送金といふ二つの致命的な打撃で一時は可成り苦しい狀態であつたが、大東亞戰に次で國民政府の參戰、[illegible]に[illegible]され一時的の[illegible]、[illegible]につれて[illegible]な[illegible]ら華僑の送金がボツボツ復活し奧地との物資交流も再開し又中立地帶であつたコロンスには[illegible]外に物資の[illegible]ストックがあつた[illegible]と日本の力に依つて米、石炭、砂糖等が生活に[illegible]される[illegible]つつある[illegible]で市民は平靜に生活して居る、ただ從來香港中心であつた物資が現在は上海中心に動き然も上海の物資が可成り良い[illegible]を示しつつあることは注目すべきである、厦門は[illegible]在支那沿岸の占領地帶では一番落着き平和な所であると言はれて居る、五月二十八日のコロンス接收に依り國民政府内政部長陳群女史が來廈され「厦門は今迄支那で一番汚い都市であつたのに今日見る厦門は支那で一番美しい都市となつて居る」と[illegible]された[illegible]に[illegible]つた、いづれにしても最近漸く厦門は更生し活氣立つて來た、その中にあつて[illegible]民は[illegible]の復興に力强い協力を示し目覺ましい進出をなして居る

厦門市民も治安立ち、厦門市政府も去る三月三十日國民政府直轄の特別市政府に編入され、又五月廿八日にはコロンス租界も正式に厦門特別市政府に返還され、全市民は非常なる[illegible]感激に打たれ今租界[illegible]念として飛行[illegible]獻納運動が[illegible]然と[illegible]されて居る、[illegible]的に見ると消費地厦門は[illegible]の如[illegible]

企業整備對策

十一日打合會

臺北州中小商工業所[illegible]協力會の[illegible]立準備に關し州當局では十一日正午[illegible]會した

特殊農産增産打合會

總督府では各州廳の特殊農産[illegible]の主任技師及び係官を招集、十日午前九時から臺北市公會堂にて芋類、豆類、亞麻、棉、[illegible]等に關する十八年度[illegible]上の打合會を開催し、[illegible]に決定した之等[illegible]作物の[illegible]面積に基く[illegible]上に就て[illegible]を行つた

金融協議會の役員補充内定

臺灣金融協議會では決戰[illegible]の現段階における本島金融事業の一元的[illegible]を[illegible]するため[illegible]

臺灣米は增産豫想

木村武氏・福岡で語る

【福岡支社特電】[illegible]谷[illegible]食糧管理局企畫課長木村武氏は九日[illegible]飛行機で、臺灣から歸來、同夜九時[illegible]博多で東上したが語る「外地米は價格引上によつてとかく[illegible]の方に[illegible]き勝ちの臺灣米事情もはつきり食糧米穀に目標を置[illegible]つてゐるから、今年度の臺灣米は相當の[illegible]をみることと思ふ、内地の食糧事情から直ちに南方に目をつけるよりも手近な臺灣米を利用すべきだ特に二期作と二期作の中間に出來る中間作米は内地の端境期に出來るのだからこれを高率的に活用したい

大屯山の明礬土に新用途

齒磨粉等にも好適

大屯山に埋藏される明礬土は壁材、[illegible]材其他に用途多く昨年創立された臺灣[illegible]火プラスター工業株式會社によりこれを利用する工業が起り臺北大龍峒工場にて本年二月以來盛んに製品を出し壁材、[illegible]材として官廳からも相當注文を受け[illegible]及び[illegible]工業用に向けられてゐるが、右明礬土は[illegible]粉、エキホス其他に利用し得ること[illegible]し東京[illegible]では過般[illegible]工場長田[illegible]氏を本島に[illegible]し調査の結果、右明礬土を利用し新竹工場にてハミガキ粉、エキホス等を製造することに決定、取敢ず每月の需要量二千五百袋づつ供給されたいとの申出であり、臺火プラスター工業では思ひがけない利用途の發見に狂喜しこれが採取增加の方法につき[illegible]研究中である

昇東郡バナナ畑を減反

【屏東電話】決戰下に於て食糧增産が要望され官民一體となつて[illegible]に邁進してゐる時に屏東、[illegible]では主要食糧增産の[illegible]によりバナナ畑を減反することとなり[illegible]又は甘藷、陸稻等を作付し食糧[illegible]の增産に[illegible]るべく十五日よりバナナ畑の減反が[illegible]されるが[illegible]減反面積は次の通りである

庄名	減反面積
屏東	四七甲
長治	三七甲
麟洛	三三甲
九塊	一八甲
計	二三七甲

農繁期に…酒を特配

【東京電話】農林省では米、麥、甘藷、馬鈴薯等の主要食糧の增産に敢鬪する農民さんの勞をねぎらふためお酒の配方をこのほど地方長官宛通牒を發した、こんどの配給時期は農繁期の田植を目差すもので今月中旬から開始するが府縣の都市を除いた農家男子一人に對し合酒一升、價格は[illegible]の公定價で配給される

企業整備懇談會終る

臺北商工會議所主催の企業整備懇談會第二日は十日午前九時から鐵道ホテルに開催、[illegible]局大内事務官から企業整備の經過並に將來の方策等について說明があり、これに對し[illegible]工會議所事務局長から[illegible]をなし、大内事務官並に[illegible]國會中央本部[illegible]より解答をなし正午[illegible]會した

籾の集荷區域適正化

地方農民要望

【北斗電話】北斗郡では第一期作の稻刈りを目前に控へ從來農民を[illegible]させし[illegible]されて來た籾の集荷區域指定區域は[illegible]した、即ち[illegible]者は[illegible]米業者（十數名）の籾集荷區域であつて一般生産者側からは不合理ながらも實質な時間を[illegible]し遠い所の指定工場へ搬送して行かねばならぬと云ふ始末である、[illegible]へば二林街[illegible]又は[illegible]下の[illegible]に夫々[illegible]した完備せる[illegible]工場を有しながら同地方産の籾は遠い北斗街又は[illegible]へ[illegible]せねばならぬ、[illegible]下に於けるこの[illegible]な[illegible]に[illegible]、[illegible]過去に於て其[illegible]を[illegible]りたる[illegible]を[illegible]努力を消耗し、又過去の指定は米[illegible]より見て由々しき[illegible]であるとなし、今や一日[illegible]者（十數名）の[illegible]を[illegible]すべき時ではなく[illegible]は[illegible]力[illegible]に[illegible]を[illegible]くべき時なりとし一般[illegible]に[illegible]方の[illegible]を[illegible]定區域の適正化を要望してゐる

輸送戰完勝へ

決戰下・木船建造〔下〕

基隆造船所を視る

そこで斯の樣な木造船は、どんな木材が使用され、如何なる順序で出來上るのであらうか、併せて造船戰士の敢鬪狀況をも視るべく、記者は基隆造船株式會社の造船所を訪れた

舞外の造船所は[illegible]しいバラックの事務所と下を倉庫に二階が[illegible]と[illegible]つて居る一棟、それに大きな材料置場を併れた在東岡、船臺はその向ふに拵へられて、今しも足場に[illegible]まれた

巨大な木船〇隻は外板も張り廻されて南海へ乗り出す晴れの日を目前に控へ見事な雄姿を橫へて居る、片側には肋骨だけの船、その肋骨の間から覗いて居る、[illegible]の建設の音[illegible]が絶え間もなく聞えて[illegible]一刻も休みない[illegible]の心から[illegible]剝たる新生の意気がひしひしと見る者の胸を打つのである、[illegible]の下[illegible]は[illegible]かな船臺を[illegible]に吹かせながら快よく迎へて呉れた、[illegible]は基隆出張所の[illegible]として當初から造船所の指導に當つて居るS技師に說明をそふ

先づ　設計室に案内された[illegible]是はただつ廣い[illegible]の大きな部屋で向ひの壁に[illegible]の設計圖が額に入れて掛けられて居る外は何も置かれて居ない[illegible]されて足元を見れば、無數の曲線が一ぱいに畫かれて居る、木造船の設計圖を擴大した原寸圖である、既設これが肋骨で、これが船首、こつちが船首、船尾だと說明を受ければ船の構造が朧げながら判る樣な氣がする、この作業を終へた[illegible]原圖はこれによつて各部分品の型板が作られるのである何故この樣な面倒な手順を必要とするのか、これが一般の木造建築と異るところで

即ち　船は同じ肋骨でも多數の肋骨が一本一本寸法と曲度を異にする、而して材料の殆んどが曲線で、この多數の異る型を作るのに直に原木へ型を入れる事は殆ど不可能に近い、そこでこの[illegible]を一つ一つ作つてはこれによつて型を入れ[illegible]引をすれば出來た型は一度作つて置けば後は同じ型の船を作る限り何度でも使へる、これは又大量生産を目ざす[illegible]造船の狙ひでもあるのだ

愈々　船を作る段取となるが先づ船臺の上に龍骨が据ゑられ、この兩端には船首尾材が取付けられて居る、これをキール据と稱するが、ここで起工式が形式に依つて擧行される、次いで船首尾の方材と船尾のエンジンシャフトを通す穴[illegible]材及び船尾材が取付けられてから船首尾兩端より肋骨が立てられて第一段の工程を終るのであるが此度の一船は丁度肋骨が全部立てられた所で船の構造を知るのに都合がよい、肋骨の隙間を抜け船内に入つて見ると大きく彎曲してぴつしり打立てられた肋骨は中心を龍骨と内龍骨に確かり取付けられて微動だもしさうにない、注意されて仔細に見れば

肋骨は二本の木材を組合せて一本にし[illegible]に當る部分は大きく厚く出來て居り又二本の木を一本に組合すにしても同じ箇所では繼がないで互ひに中間で組合はされて補强して居る斷片に細部にまで注意が拂はれて居るのであるが更に小さな材にしても[illegible]に慎重を期して肋骨を形づくつて居る一本一本の肋骨に型入れをするのみではなく柾目が[illegible]つて居なければ[illegible]のである、そこで相思樹の如き[illegible]の自然彎曲を利用しなければならない、即ちこの曲りを利用することは肋骨に限らずすべて他の部分材にしても[illegible]に歩留りを上げるのみでなく

柾目を通すことが極めて必要であるかやうに材の曲りを出か[illegible]すか殺すかが技術者の價値を決定するもので又苦心の存するところです」と技師は說明した

肋骨と肋骨は船の骨格であつて舗裝は[illegible]に[illegible]り良材を必要とするので[illegible]杉、香杉、紅檜等が使用され、肋骨は曲線を形作り彎曲して居るので相思樹・龍眼・カタン等の[illegible]が使用される、而してこの材の强弱が船の强弱を決定するため龍骨と内龍骨で肋骨を挾む外に更に内龍骨及び彎曲部と船側には縱通材が二重三重に取付けられて如何なる[illegible]にも十分堪へ得る樣に作られる、これが終れば

次は　甲板梁が渡されるが、この梁を支へるために梁曲材が必要である、梁曲材は直角に曲つた木材で枝付きや根曲り等自然の曲りが是非共必要であり然も極めて多數に必要である、この直角の曲りを利用して一方は梁を支へると共に他方は肋骨に釘附けされる、梁の上に甲板が張られ[illegible]して安定され、肋骨の周囲には一面に外板が張り廻らされると見る見る船らしい姿となるのである、外板も船首尾に近いところは彎曲度が強いので[illegible]して曲げねばならない

次いで内張り、船室、操舵室等内部の仕上工程に入り外板には水洩りを防ぐ[illegible]の目張りが緻密に施されて、コールタールや防腐塗料も塗られ

船尾には推進器の[illegible]が取付けられ、舵[illegible]も立てられて船體がすつかり出來上ると愈々進水式である、船は生き物ですよと造船戰士たちは異口同音に語へる如く船と云ふ形を作つたのではなくて[illegible]に一つの生命を創造したのだと固く信じて[illegible]は[illegible]工員にとつて晴れの進水式は何物にも代へ難い感激であり、只この一瞬のために全生命を賭けて居ると云つてもいいのである、事實[illegible]間近い方の船は今しも最後の仕上げ工程に入つて甲板に穴をあけ大きな釘を打込む者上甲板をけづる者[illegible]にもくつて懸命を左右する者

渾身　の[illegible]となつた工員達の[illegible]は[illegible]の喜びに輝いて居るのである

私共は[illegible]資材の凡ゆる力を結集して船に打込んで居りますが工員全體の努力なくしては如何にもならないので又この際に大規模の船は初めて造るのだし草創間もないため施設も貧弱で條件が惡いに拘らず工員達は極めて熱心に働いて呉れますのでこの[illegible]に立派に仕上りました

と[illegible]長は造船員の健闘を語る、造船所間として何か一般民間に對する協力に付いて御希望はありませんかと問へば

"工員出でよ"

供木を認識せよ

造船を今後一層擴充するために木造船に對する一般の十分な認識を得て先づ工員たるべき人をどしどし送つて貰ひたい、それには造船所施設の擴充により近代的な工場組織に改組し船大工と[illegible]名稱を改める必要もあるが木造船の造船工に思ひを致し進んで造船工員となつて戴きたい、又原木に就きましては針葉樹は主として官に闊葉樹は民間の積極的な協力をお願ひしたいとの注文であつた、そこで木造船に對するこれ等の樹種等を次に述べて一般の協力を要望したい

先づ　森林の[illegible]であるが木造船に使用される木材を部品別に示せば次の通りである

△**濶葉樹の部**

船首材　一　副船主材　一

船尾材　一　舵柱材　一

舵心材　一　舵羽材　二

機關臺材　四　[illegible]　二

機關座[illegible]　四　ダビット　三

以上の用材は、烏心石、相思樹

船尾肋骨材　二

船尾方材　一　船首方材　二

以上は、相思樹、龍眼、カタン

上下中板梁多數

船艙甲板梁材等多數

肋骨材、各[illegible]

首尾曲材

船首肋材

上甲板梁曲材

梁曲材、角[illegible]

相思樹、龍[illegible]

△**針葉樹**

龍骨材、前[illegible]

骨添材　四

骨添材　六

肋[illegible]材

以上檜又は香杉又は[illegible]

[illegible]

等であるが右の[illegible]

使用割合は[illegible]

[illegible]は大[illegible]となる

[illegible]はその大[illegible]

官有　林に[illegible]

[illegible]は自然の

[illegible]たる曲[illegible]

梁曲材等[illegible]

に拘はらず、[illegible]

在して居るの[illegible]

[illegible]の協力を得て供木を[illegible]する必要があるので[illegible]も注意を要する[illegible]な時期にと云ふ[illegible]木材で總て造船[illegible]、大きさ、曲[illegible]方等によつて[illegible]もの[illegible]があるで[illegible]ても無駄になる[illegible]でもよいと云ふ[illegible]造船の進行に[illegible]必要材が[illegible]をこで無[illegible]に切[illegible]所有者等に於て[illegible]が木の[illegible]つて居るので[illegible]て供木を必要と[illegible]に造船戰士の[illegible]基隆[illegible]工から[illegible]の所の[illegible]大工の[illegible]るのでなくて[illegible]と共に[illegible]んで居るが又中

[illegible]戰局[illegible]として中[illegible]以上の[illegible]を受けた者も率先してこの方面に向ひ、造船の[illegible]が[illegible]しいのである、これは又[illegible]な增産を[illegible]るためにも現在の如き手工業の段階より工場工業への飛躍が是非共必要であらう、松下工業の[illegible]造船所に於ては一本のレールに數隻の船を[illegible]して[illegible]作業を行ひ、[illegible]の分業體[illegible]を確立することにより一日一隻を生産して居ると云はれる

將來　かかる[illegible]に[illegible]で[illegible]せしめることが木造交通の大[illegible]の[illegible]をも可能とするであらうし[illegible]の[illegible]としては可能なる限り[illegible]化することによつて工程を[illegible]化するに官民一體となつて一層の努力が必要とされる、かくて内地より[illegible]一體に[illegible]つて我が木造船の[illegible]をして[illegible]に[illegible]しめよ、その時こそ大東亞共[illegible]も[illegible]であら

う（完）＝見玉[illegible]

市況（十日）

兜町後場況

【東京電話】[illegible]一週から[illegible]に[illegible]下押したのにつれて[illegible]は見送られたと共に[illegible]よく買はれたものを中心に引續き買方の[illegible]詰急ぎとなつて[illegible]不勢を示した即ち新[illegible]一圓八十錢方[illegible]始め[illegible]、日本特工、[illegible]一圓二十[illegible]三錢方下押しニッケル、日東紡新[illegible]岡本、[illegible]、[illegible]、入山[illegible]何れも一圓内外安を[illegible]その他[illegible]、[illegible]自動車も六、七十錢方引[illegible]だが[illegible]、東京[illegible]は六、八十錢高となつた

東京短期後場

	寄	引	高	安
新東株	七〇一	〇三	〇三	〇一
鐘工	九五〇	四九	五〇	四九
新鐘	七二七	二一	二七	二一
帝人新	一六九一	九二	九二	九〇
日立	九〇九	〇六	〇九	〇六
[illegible]	一六七三	七三	七三	七三
日石	七一八	一七	一八	一七
郵船	[illegible]	一七五七	[illegible]	[illegible]
新浮レ	二六二	八六九	五九	[illegible]
小倉石	五五五	五九	[illegible]	[illegible]
新選炭	四八〇	七九	[illegible]	[illegible]
日窒	七〇二	〇二	[illegible]	[illegible]
日産	五八二	八二	[illegible]	[illegible]

東京長期後場

門鐵	一二七、二	新鐵	七三、二
片倉	三七、九	新帝人	七〇、三
新倉紡	五六、一	新浮レ	五六、五
大東紡	五三、八	帝國	八一、四
日立	九一、六	新鐘	七六、六
明電工	八七、七	新	二六、七
國[illegible]	七一、八	郵新	五八、七
郵船	八六、〇	日[illegible]	七一、五
石川島	九三、九	重工	九五、五
神戸鋼	九〇、五	池貝	八〇、〇
安[illegible]	八七、五	新[illegible]	五三、三
東京[illegible]	四二、七	東[illegible]	一〇三、一
油[illegible]	五九、一	日[illegible]	五四、三
日石	七三、一	東新	一〇四、四

大阪短期後場

	寄	引	高	安
新東株	七三〇	二五	三〇	二四
鐘紡新	一二五八	五八	五八	五六
東紡	一四五二	五四	五四	五二
日石	七、四	一一	一四	一一
日立	一	九〇三	〇五	〇三
帝人新	一	六九三	九三	九三
郵船	八六三	六三	六三	六三
商船	七七三	一	七五	七一
重工	九四五	四七	四七	四五
神戸鋼	九〇七	[illegible]	〇七	〇五
倉紡新	五四四	四七	八四	[illegible]
日レ	四九〇	一	四一	[illegible]
日立新	五四一	七五三	[illegible]	[illegible]
鐘[illegible]	大七大	一	一	[illegible]
日[illegible]	一	一	五八一	[illegible]

愛機に合掌“飛んでくれ”

片肺生還の海鷲魂

悠々生死の境に大空の饗宴

【〇〇基地にて日野（朝）特派員發】[illegible]この日この基地でも〇〇航空隊が[illegible]ガダルカナルの夜間攻撃に[illegible]。これは[illegible]〇〇兵曹以下[illegible]の若武者が[illegible]片肺となり[illegible]不時着以外に[illegible]飛行機を[illegible]〇〇浬の夜の海上を基地まで[illegible]兵曹達に取つてたよりとするのはたつた一つの右發動機、[illegible]「飛んで呉れ止まらずに」と手を合せて飛んだと云ふ、以下は〇〇兵曹の[illegible]「海鷲魂」は[illegible]

憎いガダルの闇に　並ぶ好餌の滑走路

自分がガダルの上空へ來ると、何時でもあの鬼畜の[illegible]米兵を[illegible]し、散つて行く戰友達の[illegible]を偲んで、[illegible]心にかられる、もう何回かこの上空を飛つたが、これだけは自分はどうする事も出來ない[illegible]である、そして[illegible]の一聲一聲を[illegible]す毎に「これでよう飛べ」と心に念じるのだ[illegible]「よう飛べ」は何んだ」と聞かれて[illegible]分は何時でも此處に冷酷な人間となり、[illegible]の外に憎い〳〵米兵の[illegible]が[illegible]照らされてこやつがにたく[illegible]共奴が何時迄も追ひついてきて離れない「蛮生」と[illegible]を追つかけてガダルの上空へ突入した、下には[illegible]てゐる、北西寄りに〇箇所の飛行場が[illegible]り照し出されてゐる、その一つの[illegible]行の[illegible]らしく滑走路の[illegible]にずらりといくつもの[illegible]されて並んでゐる

自分はこれを攻撃目標として指揮者と分隊した

無念や遮る探照燈　瞬間火を噴く片肺

そして[illegible]滑走路へ入らうとした[illegible]眼前に大きな光芒[illegible]

[illegible]

この間に[illegible]の光芒は益々その數を増して林のやうに十數本[illegible]

[illegible]

基地へ悲壯の報告　思ふは負傷者の身

[illegible]

「自爆か」と[illegible]基地へ[illegible]

[illegible]

おお發動機好調だ　涙で點す煙草の火

[illegible]

「有難う、有難う」

自分は今でも、この飛行機を[illegible]

申合せを實行して勝ちぬきませう

廣谷市長・戰ふ常會を行脚

臺北市役所では去る八日の大部落會日から[illegible]各區の役員[illegible]を動員して市内各[illegible]を一[illegible]視察を[illegible]したこの夜廣谷支會長も親しく[illegible]常會[illegible]に出掛けた

小田原主事、[illegible]北出張所長を[illegible]へた廣谷支會長は太平三區長[illegible]田英俊氏の案内で先づ第五分區三十六班常會が開かれてゐる太平町五丁目の[illegible]合を訪れた此處では[illegible]が熱心に六月の申合事項について説明を加へてゐた[illegible]である、廣谷さんは[illegible]

[illegible]

（寫眞は常會席上廣谷さんの[illegible]）

警防精神の權化　余君近く表彰

臺北市川[illegible]警防分團[illegible]余君は[illegible]の[illegible]中たまた[illegible]同君の[illegible]中であつたが[illegible]と同時に[illegible]を中止[illegible]を近[illegible]

朝香宮孚彥王殿下

宇都宮飛行學校に御入學

畏し空軍增强に御垂範

【宇都宮電話】決戰下[illegible]航空決戰の[illegible]を極めつつある[illegible]大佐殿下　朝香宮孚彥王殿下には[illegible]を以て[illegible]と共に[illegible]せられ米英撃滅の[illegible]一線に御起ち遊ばすため[illegible]くも十日航空[illegible]所員の御身分を以て宇都宮陸軍飛行學校に一操縱學生として御入校遊ばされた、この日殿下には午前八時[illegible]十三分上野驛御發同十時五十三分宇都宮驛御着[illegible]御附武官[illegible]木少佐を從へさせられて驛頭岡本師團長、[illegible]井知事以下[illegible]官民[illegible]代表等の奉迎裡に自動車に召させられ同十一時[illegible]

[illegible]

安田航空總監謹話

[illegible]

加藤敏雄大佐謹話

[illegible]

誓って忠靈に續く

第一回後期修了生　第二回前期入所生　合同感謝祭

【新竹電話】[illegible]

長谷川夫人ら上京　日婦支部長會議に

[illegible]

臺北州全産業增産强調週間六日目

重要工業を視察

福澤産業部長汐止街へ

山本元帥に續く[illegible]

[illegible]

比島人が作曲

「かくありて」

現地に唱ふ本間將軍の歌

【東京電話】「かくありて許さるべきや[illegible]の木陰に消へし友など[illegible]へば」之は[illegible]バタアン半島攻略成り[illegible]本間將軍は[illegible]

[illegible]

戰ふ豫算を審議

決戰色溢る臺北臨時市會

[illegible]

感謝決議

[illegible]

學生馬術も實戰へ

文部省、武道刷新につぐ斷行

【東京電話】[illegible]

小笠原體育局長談

[illegible]

香港で棋道奉公に盡瘁

松林茂比古氏談

[illegible]

友利憲兵准尉除隊

[illegible]

『銃後戰線上の諸問題』

有馬賴寧伯講演

[illegible]

防空監視哨員感謝資金（四）

本社扱

[illegible]

小計　三千二百廿二圓五十錢

累計　十一萬四百七十四圓七十七錢

日の出目藥

KOKUON

[illegible]

蠅油蟲を驅除しよう　懸賞付て猛運動展開

テルモライツ

今日の映畫

大世界　台劇　新世界　芳乃館　芳明館　城内戲院　萬華劇場　太平館　第三世界　基隆・羅東地區　基隆世界　旭劇場　大和劇場　羅東座　北門合同興業會社　基隆劇場　中央劇場

[illegible]

東寶國際館

[illegible]

第六期決算公告

淡水劇場株式會社

[illegible]

自家用乘用自動車賣却

南日本化學工業

[illegible]

第三十二回決算公告

吉野屋商店

[illegible]

第三回決算公告

臺灣輸出振興

[illegible]

媒介

女中　タイピスト　交換手　女中　講師　講師　洋裁　監視　事務員　洋髮　タイピスト　公用　電話　電話　住宅　産婆　犬猫　新型カメラ　ファーストフレックス

[illegible]

當組合常務理事上田雄太郎殿病氣療養中ノ處藥石效無ク六月八日午前二時死去致サレ候

[illegible]

昇東興農信用購買利用組合

解散公告

當會社ハ昭和十八年五月二十五日株主總會ノ決議ニ依リ解散致シ候ニ付債權者ハ本公告掲載ノ日ヨリ二箇月內ニ其ノ債權ヲ申出ヅベシ

[illegible]

高雄酒精株式會社

清算人　外山[illegible]

會葬御禮

屏東中學校

大平晴一

[illegible]

[illegible]

臺灣紙業

[illegible]

高本原政三　桑原安治郎　村田政子　青木富義　松岡住後　安住一雄　森田介　須田久一　名取譲一　増澤乃

[illegible]

殉國の忠魂に續かん

小さき胸にも感激

【新竹電話】新竹市旭國民學校の可愛い子供達は山本元帥の戰死、アッツ島の勇士玉碎に何れも感激、小さい胸にも米英擊滅を誓ひ合ひ、[illegible]國防獻金として百五十圓を[illegible]

新莊街日婦で建艦獻金募集

[illegible]山本元帥とアッツ島勇士の忠魂に續へ吾々は誓つて米英擊滅の決意を固めると同時に、[illegible]

空の防人へ感謝

【北斗電話】[illegible]

誓つて奉公の尖兵

員林永靖庄の決戰總常會

【員林電話】[illegible]山本元帥の壯烈な戰死、アッツ島の[illegible]

信用組合に決戰貯蓄　【斗六電話】[illegible]

若櫻臺中州隊

昨日堂々晴れの歸還

【臺中電話】[illegible]

臺中州支部參與委員會

【臺中電話】[illegible]

優良婦女團を表彰

【新竹電話】[illegible]

增產へ技術の改善

嘉義郡米增產推進打合

【嘉義電話】[illegible]

一、自給肥料增產週間の設定

二、種籾の換莖實施

三、共同苗代の奨勵、四尺市場[illegible]

四、六月二十日より七月二十日を[illegible]

五、除草追肥奨勵週間設定

六、綠肥栽培奨勵週間の設定

七、[illegible]

嘉義市で區會

費徵集內定

區事務所經費捻出策

【嘉義電話】[illegible]

水利組合員の赤誠

海軍機資金昨日獻納

【臺中電話】[illegible]

婦人常會の效

率發揮へ

嘉義で『婦人常會開催の手引』作製

【嘉義電話】[illegible]

皇奉嘉義郡支會の委員會

【嘉義電話】[illegible]

無軌道電車設置

高雄商議役員會で附議

【高雄電話】[illegible]

日赤會員增募

十日臺南で協議

【臺南電話】[illegible]

巡査の再教育

新竹州で講習會

【新竹電話】[illegible]

彰化で產業組合事務研究會

【彰化電話】[illegible]

征け少年、決戰の空へ

高砂少年が航空兵志願

【新竹電話】[illegible]

嘉義市長飛檄

【嘉義電話】[illegible]

十一日、理蕃關係事務の打合會

【臺東電話】[illegible]

郡役所職員が率先

北門郡　軍艦旗の下へ六三名

【北門電話】[illegible]

組合貯蓄は十二月末までに

員林郡貯蓄完遂打合

【員林電話】[illegible]

(1)國民貯蓄增强方策要綱(2)[illegible]

高雄貿易振興會總會　【高雄電話】[illegible]

東港郡漁業協同組合總會

【東港電話】[illegible]

玉碎烈士に香華料　【臺中電話】[illegible]

日婦彰化郡支會打合　【彰化電話】[illegible]

防空研究會

公馬

【馬公電話】[illegible]

北港郡部落振興打合

【北港電話】[illegible]

嘉義市の大詔奉戴日獻金

【嘉義電話】[illegible]

甘藷の州內自給へ

新竹州で增產方策協議

【新竹電話】[illegible]

從軍を血書歎願

【新竹電話】[illegible]

神岡庄助役に立野氏

【豐原電話】[illegible]

千葉視學官基隆郡下初巡視

【基隆電話】[illegible]

移民は北進か南進か

農業の養畜兼營を立證

【高雄電話】高雄州當局では嘗て[illegible]

蔬菜

[illegible]

文に

[illegible]

有畜農業（新莊各民村の[illegible]）

養鷄

[illegible]

小岩井農場の例

大阪

[illegible]

岡崎種畜場の例

臺灣

肥料問題

[illegible]

要す

有利な蔬菜

[illegible]

移民への希望

【滿洲移民】[illegible]

【南方移民】[illegible]

北進南進

[illegible]

赤誠の獻金

軍司令部（六月八日）

國防獻金　八、九一〇圓四[illegible]

恤兵金　[illegible]

國防獻金（六月九日受）

[illegible]

海軍武官府（六月[illegible]）

國防獻金　[illegible]

アッツ島玉碎將兵の英靈へ香華料

[illegible]

獻品　[illegible]

國防獻金（六月十日受）

[illegible]

恤兵獻金　[illegible]

アッツ島玉碎將兵の英靈に香華料

[illegible]

今日のラヂオ

第一放送

◇時報　[illegible]

◇六・〇〇　少國民の時間（第一[illegible]）

◇六・二〇　家庭衛生の時間[illegible]

◇六・五〇　音樂（レコード）[illegible]

◇七・四〇　歷史講座[illegible]

◇八・〇〇　みんなでうたひませう[illegible]

◇八・二〇　初夏旬の演芸[illegible]

◇八・四〇　農民の時間[illegible]

◇九・〇〇　軍國歌謠[illegible]

第二放送

◇四・三〇　[illegible]

◇六・一〇　[illegible]

◇六・三〇　大阪府[illegible]

◇七・三〇　音樂（レコード）（東京）

◇七・五〇　軍國歌謠（東京）

◇九・〇〇　ものゝふの歌（東京）

◇一〇・〇〇　幼兒の時間（東京）

◇一一・〇〇　國民學校放送[illegible]

◇一一・四五　[illegible]

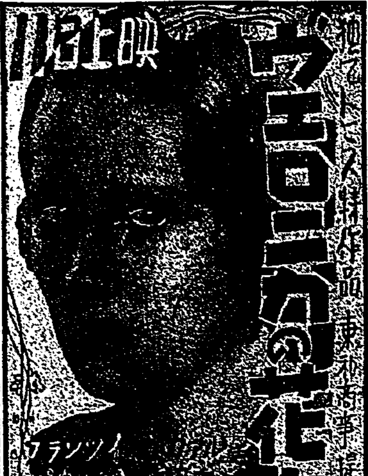
◇〇・二〇　ヴァイオリン獨奏（東京）

消化率上昇

三消化酵素と同化性ビタミンB複合效果

本劑は胃腸組織細胞を賦活し消化吸收力を著しく活潑ならしめ粗食も榮養化

ともかわ錠


11日上映
ウェロニカの花束
フランツィ
ワン
大世界50錢

樂壇の祭典！
音樂の彈丸！
群舞の花園！
16日より封切！
音樂大進軍
大世界館
東寶の樂舞大交響樂映畫
巨匠渡邊邦男演出
樂園の巨星
東寶の花形
總動員
配給社合同映畫發行所

絶えず仁丹で
胃腸を强力に働かせ榮養を進め疲勞消耗を防ぐのが最も有効
職場に
戰地に
仁丹
消化と毒けし
胃腸に
頭痛に
疲勞に

体力增强の會

今も
昔も
效能で賣れる
七ふくひゑ下り
大阪高津表門筋
本家七ふくや伊藤長兵衞
振替大阪九七三・電南七二九

らい病

工業用銀鑞　山口商會

健康增進　ネオトン

ピンデン
南京虫根絶薬
心構へに解除はないぞ
京都良薬株式會社
京都市吉祥院

脊髓病自療法

木本製藥所

中野高等無線電信學校

女だけの話

女一生の衛生寶典

漢方散藥　婦人美宝散